



2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ
率先しよう
2006~2007年度
ウィリアム・ビル・ボイド

Weekly Report

創 立:1980年(昭和55年)1月10日
会 長:遠山 義郎
幹 事:天野 正明
会報委員長:稲垣 豊
例 会 日:毎週木曜日 PM12:30~
会 場:ヒルトン名古屋
事 務 局:460-0008
名古屋市中区栄1丁目33
ヒルトン名古屋910号
T E L:052-211-3803
F A X:052-211-2623
M A I L:2760nagoya@mizuho.rc.jp
U R L:http://www.mizuho.rc.jp/

第1305回例会

世界理解月間

2007年2月1日(木) 晴 第27回

司 会:(宗宮信賢会場委員)
斉 唱:「君が代」「奉仕の理想」
ゲストスピーカー:中電興業株式会社 企画部長 谷 伸司氏
ゲ ス ト:遠山義郎さんのゲスト 近藤 茂弘さん
ビ ジ タ ー:一宮北RC 大河内圭一さん

会長挨拶

遠山義郎会長

まず、最初に先週の第4回クラブフォーラムで、中間決算、クラブ細則改定、瑞穂ロータリーの青少年育成基金、ホテル事業の見直しなど多くの議題にご審議を頂きまして有難うございました。今日の挨拶をさせていただきます。



2月4日は「立春大吉」運勢学上の一年が始まります。この「立春大吉年賀状」が必ず毎年、2月4日に私の手元へ届きます。あと三日です。何代も前から日本国紙幣の印鑑を作っていて、東京にある「聖徳会」です。私は、最近では社名変更、印鑑の作成、孫の名前つけなど、非常に長いお付き合いに感謝をしています。

さて、「節分」ですが、本来は「立春・立夏・立秋・立冬」の前日のことを言うそうです。今では、立春の前日を節分と呼ぶようになりました。節分の行事はその昔は、宮中での年中行事であったそうです。HPから引用しますと「宮中ではこの日、彩色した土で作成した牛と童子の人形を大内裏の各門に飾った」といわれています。この節分の鬼を払う悪霊はらい行事は、平安時代頃(10世紀)から行われている「追儺」(ついな=大晦日の夜、悪鬼を払い疾病を除く儀式)から生まれたそうです。今年の恵方は北北西となります。北北西というのは西洋式の16分割した方位の名称です。それに対して恵方でいう時の方位は中国式の24分割した方位です。そして恵方は十二支と違って、その年の十干により4つの方位を巡行します。また中国式は西洋式と違って南北が逆になります。よって中国式で、今年は北微南(きた・びなん)の方角となります。大須観音は名古屋城開府(1610年)に際して、徳川家康が美濃の大須から移築させた寺とされています。名古屋の中心部を取り囲むように龍泉寺、甚目寺、荒子、笠寺と尾張四観音の中枢にあたり、中心恵方と縁起の良い方角と呼ばれています。

今年の天干地支は丁亥(ひのとい)丁の一は従来の代表的な動きを継続、下の「は」、新しい、あるいは対抗勢力を示し、新旧の衝突を意味するそうです。丁亥(ひのとい)は、1407年の関東で大震災、1707年には東南海地震が発生した上に富士山も噴火しました。亥の年だけに限りますと、1971年には新潟地震、1995年には阪神大震災、その意味では私達が予想もしないような天変地異がひょっとすると起きるかもしれません。

出席報告

市岡正蔵出席委員

会員73名 出席57名 (出席計算人数53名)

出席率84.91%

1月25日は補填により 94.34%

幹事報告

天野正明幹事

- ・本日第5回クラブアッセンブリー及び第8回理事会です。13時35分より4階「梅の間」にて行います。
- ・本日16時より新入会員研修会、18時より懇親会です。「ろく」にて行います。
- ・次週は2月7日(水)西名古屋区分I.Mです。会場は、名古屋マリottアソシアホテル16階「タワーズボールルーム」です。15時15分受付開始、16時開会、19時30分閉会となります。関係各位はご出席ください。
- ・2月8日(木)は2月7日(水)I.Mの振替により休会です。お間違えないよう、ご注意ください。

臨時例会変更のお知らせ

名古屋南			2/28(水)	3/7(水)
名古屋北	2/16(金)※	2/23(金)		3/9(金)
名古屋東	2/12(月)※			3/5(月)※
名古屋守山		2/21(水)		
名古屋みなと	2/16(金)			
名古屋東南		2/21(水)	2/28(水)	
名古屋中			2/26(月)	
名古屋名東		2/20(火)		
名古屋名北		2/21(水)		
名古屋千種	2/13(火)※			
名古屋栄	2/12(月)※			3/5(月)◆
名古屋名南		2/20(火)※	2/27(火)◇	
名古屋昭和	2/12(月)※			3/5(月)
名古屋西南	2/15(木)			3/8(木)
名古屋錦		2/20(火)		
名古屋東山			3/1(木)	
名古屋葵		2/22(木)※	3/1(木)※	
名古屋空港	2/12(月)※			
尾張中央		2/21(水)		
豊山一城北			2/27(火)	

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◆はサイン受付時間が17:00~18:00となります。

◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

ニコボックス

市岡正蔵ニコボックス委員

- ・2月19日は私の誕生日です。馬場 将嘉さん
- ・2月23日は76回目の誕生日です。こんなに生きられると思いませんでした。中川啓二郎さん
- ・2月18日は私の誕生日です。宗宮 信賢さん
- ・今月2月17日は私の誕生日です。近藤 洋輔さん
- ・2月3日、節分の日には妻の誕生日です。高村 博三さん
- ・吉木さんにお世話になりました。急の痛みで、助かりました。おかげさまで夜中によく眠れました。岡本 忠史さん
- ・もうすぐ春ですね! 入山 治樹さん

・渡辺さん、大変お世話になりました。有難うございました。

近藤 雄亮さん

・年初そうそう欠席が続き、申し訳ありません。

小串 和夫さん

・三好の株主総会も無事終了しました。今度は会員総会です。

三好のメンバーの皆さんにはよろしく願います。

泉 憲一さん

委員会報告

R情報委員会: 守谷 巖樹委員長

本日ロータリーの友をお配りしました。今月は世界理解月間であると同時に、世界理解と平和週間です。それから2月23日はRCの創立記念日でございます。今月号には地区大会の略報が掲載されておりますので、ぜひご覧ください。また、地区のたよりの中で、東南RCと豊橋北RC、安城RCの530運動についての記事が掲載されておりますので、ぜひ見落とさない様をお願いいたします。他にも、世界各地での日本人ロータリアンの活動が紹介されております。

国際奉仕委員会: 岩田 修司委員長

台北延平RCの30周年記念式典に、現在、会員30名、ご家族15名の計45名の登録を頂いております。先方から予定が届きましたので発表いたします。3月15日式典。16日は温泉地で1泊し、17日は圓山大飯店にてさよならパーティーです。最終日の18日はゴルフと観光をされる方に分かれて行動します。費用の件ですが、渡航費、圓山大飯店宿泊費(2泊)、温泉宿泊費(1泊)は個人負担となります。その他は台北延平RCが負担するそうです。

台北延平RCが5月に、湘南RCの30周年記念に来日されます。それに合わせて5月17、18日に35名で名古屋にお越しになります。17日はヒルトンにてウェルカムパーティー、18日はさよならパーティーです。詳しいことはまたご案内します。

先日メールボックスに6月に開催される、ソルトレークでの世界大会の案内を入れておきました。現在、出席者はいらっしゃいませんが、もし参加を検討されている方がいらっしゃいましたら、事務局までお申し出下さい。

2月誕生日おめでとう

田中 政雄さん	宇佐美貞夫さん	守谷 巖樹さん
亀井 直人さん	近藤 洋輔さん	宗宮 信賢さん
馬場 将嘉さん	松井 善則さん	中川啓二朗さん
増田 盛英さん		

委嘱状伝達

2007~08年度第2760地区へ委員として出向される方々に、遠山会長より、遠山会長へは水谷副会長より委嘱状が伝達されました。

地区クラブ奉仕委員会委員	天野 正明さん
地区ロータリー未来委員会委員	遠山 堯郎さん
地区新世代委員会副委員長	
地区職業奉仕委員会委員	大島 浩嗣さん
地区社会奉仕委員会委員	稲葉 徹さん
財団学友委員会委員	増田 盛英さん

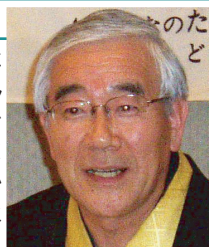


卓話

中電興業株式会社 企画部長 谷 伸司氏

「日本の文化『落語』」

お招きを賜りまして有難うございます。私は電柱に取り付ける広告看板を作る仕事をしております。最近、落語はテレビや雑誌などで取り上げられ、大変評判になっております。まず初めの落語は、若い世代がなかなか働かないと言われておりますが、そういうことを扱いましたお話「動物園」でございます。



朝が弱く、力仕事が出来ず、口下手な男が、昼飯がついて1日1万円の好条件の職を世話してもらうことになった。移動動物園で人気の虎が死んでしまったため、残った皮を被って虎になる仕事があるという。そんな仕事誰がやるのかと初め言っていた男であったが、よくよく考えてみると、自分が望む仕事の条件にピッタリと一致することに気がつき、動物園へ池田さんを訪ねていく。虎の皮をかぶって虎になる仕事をする人なんていないと思っていた所に、その男性が現れたことから、早速虎になってくれと池田さんから虎の皮を渡される。虎の歩き方などを教えられた後、檻に入れられ開園を待つ。開園すると、目の前に来た子供にパンをくれと言い、手で掴んで食べてしまう。子供とその母親に不思議がられながらも時間は過ぎていく。そして動物園のアナウンスが、「ただいまからショーが始まります。虎の檻の前へお集まりください」と流れる。司会者が出てきて集まった客に、虎とライオンの猛獣ショーをするという。檻の中で慌てふためく虎の男。しかしながらライオンはたてがみをなびかせながら近づき、虎の耳元で囁いた。「心配するな、おれも1万円で雇われた。」

時間の都合もございましてで続けて参りたいと思います。本日は日本の文化というお題であります。落語というのは日本にしかない芸能だと思っております。講談というものもありますが、似ている様で全くの別物であります。元々落語は、庶民の生活を面白く描いたものですが、講談というのは軍談・仇討ちなどを調子をつけて語ります。

次は「松山鏡」と言う落語をお聞かせします。これは鏡のなかった頃のお話です。鏡というと身分の高い人しか持っておりませんでした。ですから自分の顔を知らないと言う様な時代でありました。

昔、越後の松山村に正直者の庄助という男がいて、18年間、亡くなった親のお墓参りを欠かしたことがありません。その評判が殿様の耳に入り褒美を与えようと言うことで、庄助はお城に呼び出されました。殿様は庄助に望みのものがあれば、なんでもかなえてやると言いました。親の墓参りをするのは当たり前のことなので、褒美を貰うなど減損もないと言いました。そうではあるが褒美を受け取るが良いと、田地畑がよいか、衣類がよいか、お金がよいかと庄助に問いました。それでも特に欲しいものはないという庄助。望みはあるが、とても叶えられるものではないと言います。どんな望みでも叶えてやるという殿様に対して、庄助は「亡くなった父親に会いたい」といいました。望みをなんでも叶えるといった手前、後には引けなくなり、家来たちが集まって知恵をしぼったあげく一計を案じたのであります。まずは庄助に父親の亡くなった年齢を尋ねました。庄助と同じ年頃であると言うことでした。そして庄助と父親は似ていたのかを尋ねると、庄助は瓜二つであったと答えました。そこでお城にある大きな鏡を箱に入れて持ってきました。庄助に箱を開けてみると言い、ふたを開けてみました。するとそこに亡くなった庄助の父親がいるではありませんか。初めて鏡を見る庄助は、泣いたり笑ったりして喜びました。殿様は気に入ったのならばその箱を褒美として与えると言いました。だが決して他人に見せるのではないと言い、正直者の庄助はその言葉通り、倉の一番奥のつづらの中にしまい込みました。仕事へ行く時や帰った時、毎日欠かさず父親に挨拶をしておりました。その様子を怪しんだ女房は、庄助が留守の間に倉へ行き、つづらの中の箱を見つけ、ふたを開けて驚きました。そこには女の姿があったからです。庄助の帰りを待ち、倉の中の箱について聞いたされました。今まで仲の良い夫婦はとくみあいのケンカを始めました。そこへ尼さんが通りかかり二人をなだめました。事の次第を聞いた尼さんは、倉の箱の所へ行き、ふたを開けました。すると尼さんは「二人とも、ケンカをするな。おまえ達があんまり派手なケンカをするから、中にいた女がきまりが悪くて頭を丸めてぼうずになったぞ。」

お詫びと訂正

1304回のウィークリーに於いて、以下の間違いがありました。4ページ目 「2007~08年度名古屋瑞穂RC組織」 職業奉仕委員会 副委員長 高木 勝さんとなっておりますが、正しくは近藤洋輔さんの誤りです。お詫びの上、訂正いたします。

今週行事

2月7日(水)

西名古屋分区 I.M: 名古屋マリオットアソシアホテル16階
「タワーズボールルーム」
※2月8日(木)は振替により休会

次週卓話

2月15日(木)

会員卓話: 森 恒夫さん
テ - マ: 「事業継承対策あれこれ」